

映画制作ディレクター 参加決定!

入場無料

高知県韓国映画祭

人類愛で日韓交流を考えよう

今回上映する映画は、2001年に東京の新大久保で線路に転落した日本人を助けようとして亡くなった韓国 人のイ・スヒョンさんをテーマにしたドキュメンタリー映画です。

「日本と韓国の架け橋」になりたかったスヒョンさん。彼の勇気のある行動は日韓両国の人々の心を打 ち、寄せられた弔慰金を基にした奨学金により、韓国をはじめとする多くのアジア出身の語学留学生がスヒ ョンさんと同じように日本語を学ぶなど、彼の人類愛は日韓交流の歴史に大きな足跡を残しています。

高知県と韓国全羅南道の姉妹交流も、韓国の孤児3000人を育て、「木浦の母」と慕われた高知市出身であ る田内千鶴子さんを契機として行われています。つまり、人類愛が日韓交流のきっかけとなっているのは、 高知県も同じだと言えるのです。

中村里美 映画制作ディレクターに よる映画解説や、Q&Aタイムも あります!

ぜひご参加ください!

上映映画:「かけはし」

日時: 2022年7月26日(火) 13:40~16:10(13:10 開場)

定員:66名

場所: 高知市立自由民権記念館 1階 民権ホール

高知県高知市桟橋通4丁目14-3

お問い合わせ:高知県文化国際課 国際交流担当

TEL: (088)823-9605 FAX: (088)823-9296

高知県文化国際課 HP: https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/140201/

申込URL: https://s-kantan.jp/pref-kochiu/offer/offerList_detail.action?tempSeq=3336

申込締切:2022年07月22日(金)17時



OR申込



電車 … 桟橋車庫前(自由民権記念館前)下車 バス … 桟橋通4丁目下車



ⓒ(株)ミューズの里

ⓒ(株)ミューズの里

ⓒ(株)ミューズの里

□ 主催:高知県 □ 共催:駐広島大韓民国総領事館 □ 協力:日韓親善協会中央会

ドキュメンタリー映画『かけはし』自主上映のご案内



空前の韓流ブームから、反韓・嫌韓のヘイトスピーチへ。この10年あまり、愛と憎悪のはざまで激しく揺れ動いてきた日韓関係だが、そんな喧噪から離れたところで、ひっそりと、しかし着実に受け継がれている国際交流の絆がある。

2001年1月26日、JR新大久保駅で、線路に転落した日本人を助けようと、カメラマンの関根史郎さんと韓国人の日本語学校生のイスヒョン(李秀賢)さんがホームから飛び降り救助にあたったが、3名とも帰らぬ人となった。スヒョンさんが外国人であったことから、この事件は大きな話題を呼び、来日したご両親のもとには日本全国から弔慰金が寄せられた。

ご両親は深い悲しみの中で、生前「日韓の架け橋になりたい」と言っていた息子の遺志を継ぐため、アジアからの日本語学校生を支援する奨学会の設立を関係者に懇願し、受け取った弔慰金を寄付した。こうして、母国と日本の架け橋になることを夢見て来日したアジアの若者を支援する奨学会が発足し、スヒョンさんの頭文字をとって特定非営利活動法人LSH

アジア奨学会と名付けられ、これまでに18の国と地域から来日した844名の留学生に奨学金を手渡してきた(2017年10月現在)。

日本の小学校の教科書にスヒョンさんのことが掲載され、 2015年6月にはご両親に対し、これまでの活動を顕彰して日 本政府より「旭日双光章」が授与された。

本作品『かけはし』第1章では、関係者インタビューによってスヒョンさんの人生を浮かび上がらせると共に、彼の死後、 ご両親と同奨学会が行った留学生支援活動や奨学金を受けた 留学生の姿を描いている。

第2章では、日韓国交正常化から50周年を迎えた2015年に 来日した韓国の大学生の、日本の学生との交流や、歴史的に朝 鮮半島と縁の深い、奈良県の明日香村でのホームステイを通 して、民間交流をしながらスヒョンさんゆかりの地を訪れる 旅を追っている。

※本作品は2作品上映となります。(上映時間:第1章42分+第2章53分)







企画・製作・統括プロデューサー:中村里美 製作・プロデューサー:伊藤茂利 ディレクター:中村柊斗 ナレーション:牛島摩弓 予告編・日本語字幕:柴田誠 アドバイザー:長谷川直樹・石川均・倉本和人 音楽:伊藤茂利 製作・配給:ミューズの里 撮影形態:ビデオデータ撮影 公開形態:DLP Blue Ray公開 公開:2017年2月より劇場公開 主題歌「かけはし」作詞・作曲・歌:中村里美

http://kakehashi-movie.net